

J R 東海労働関西地「申」第17号
2023年1月18日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 臼井 俊一 殿

J R 東海労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 笹田 伸治

「豊橋～名古屋間における架線切断」に関する申し入れ

12月18日、午後1時ごろ、東海道新幹線の豊橋～名古屋間、愛知県安城市の下り線で架線が切断（吊架線とトロリ線間の補助吊架線）して停電が発生し、新幹線74本が運休し、114本が最大4時間28分遅れるなど、約11万人に影響を及ぼした。今回の架線切断の原因と、架線切断後の運行に関して多くの問題が発生している。

よって、早急に、団体交渉を開催すること。

記

1. 今回、豊橋～名古屋間下り線の補助吊架線切断の原因を明らかにすること。
2. 架線切断後の運行に関して、新大阪駅では電車が入線してから、乗務員の手配が遅れて、営業列車では乗客をホームに30分以上待たせた列車が複数発生した（252A, 9468A等）。なぜ、乗務員手配が遅れたのか明らかにすること。また、乗務員手配が遅れた全ての列車を明らかにすること。
3. 当日、大阪第一車両所発車の回送列車が45秒早発した。その原因を明らかにすること。

以上